

質 問 回 答

2024 年 5 月 14 日

「全世界市場志向型農場振興（SHEP）各種研修にかかる情報収集・確認調査（一般競争入札（総合評価落札方式-ランプサム型）」
（公示日：2024 年 4 月 24 日／調達管理番号：24a00200）について、質問と回答は以下の通りです。

1	P.13 (1)SHEP アプローチ研修 におけるワークショップの演習ファ シリテーター	本邦での研修実施において、ワークショップ資 材などの経費を積む必要がありますか。	すべて国内センターで準備するため、積算不要 です。
2	P.13 課題別研修および国別研修 の SHEP ワークショップ実施日程	各研修の実施場所、研修受託団体、担当するJ ICA国内センターに関する情報を提供してい ただけですと幸いです。また当該コンサルタントが 拘束される日数は各研修何日になりますでしょ うか。特に南アフリカ国別監修に関してはネット でも関連情報を得ることができません。正確な 経費の見積りに必要になりますのでご教示くだ さい。	いずれも3日対応いただくこととなります。 ・アジア地域市場志向型農業振興（行政官）(A) 場所・担当センター：JICA 北海道（帯広） 受託団体：十勝インターナショナル協会 ・ナミビア国別研修 場所・担当センター：JICA 北海道（帯広） 受託団体：一般社団法人とがち地域活性化支援 機構 ・アフリカ地域市場志向型農業振興（行政官）(B) 場所・担当センター：JICA 関西 受託団体：株式会社シー・ディー・シー・インター ナショナル ・南アフリカ国別研修 場所・担当センター：JICA 横浜 受託団体：未定

3	P.14 ナミビアでの現地でのワークショップ開催	経費として、会場費、昼食・軽食費、ワークショップ用資材、参加者の旅費・日当を見積書に計上しておく必要がありますか。 またその場合は、ナミビア事務所の日当宿泊の基準をご教示ください。	こちらプロジェクト予算で対応するため、計上不要です。
4	P.14 モンゴルでの SHEP 指導者向けの研修実施	期間の想定は何日でしょうか。 また会場費、昼食・軽食費、ワークショップ用資材、参加者の旅費・日当を見積書に計上しておく必要がありますか。 その場合は、モンゴル事務所の日当宿泊の基準をご教示ください。	・SHEP 指導者向けの研修実施期間に関し、5日間(月～金)。コンサルタントのモンゴル出張期間につきまして、移動含め 2 週間想定。第 1 週目は、現地状況を視察しプロジェクト専門家と協議しながら研修資料作成、第 2 週目は研修実施を予定しています。 ・係る経費(会議費や旅費など)は、モンゴル事務所の出張旅費基準に基づき、プロジェクト予算で対応します。
5	P.18 (5)対象国の便宜供与	便宜供与内容に車両・運転手の提供が含まれていませんが、費用を見積書に計上しておく必要がありますか。	・モンゴル、ナミビアいずれも、プロジェクト車両を手配するため、別途経費を計上する必要はありません。
6	p.13-14 第 3 条 調査の内容 (2)技術協力プロジェクト実施国における現地調査	ナミビアの「過年度研修員」、モンゴルの「帰国研修員」については、前年度だけでなく、2年以上前の研修参加者も必要に応じて対象に含めるという理解でよろしいでしょうか。	・モンゴル:基本的にプロジェクトの対象6県及びウランバートル市の SHEP 指導者向けの研修実施を想定しています。その中に、帰国研修員が含まれているという位置づけになります。こちらは、技プロが育成する SHEP 指導者向けの研修です。なお、モンゴルからはアジア SHEP 課題別研修に 2021 年から参加しており、2024 年度研

			<p>修にも参加する予定で、過去 4 年の研修員を対象とする予定です。</p> <p>・ナミビア:これまで 2022 年から研修を実施しておりますため、過去 3 年の過年度研修員が対象となります。</p>
7	同上	<p>ナミビアのワークショップに関して、想定される参加者の対象(過去に SHEP 研修に参加した研修員のみを招集するのか、プロジェクトに関係する全ての普及員または政府職員を招集するのかなど)を人数や勤務地等も含めて伺うことは可能でしょうか。</p>	<p>過去に SHEP 研修に参加した研修員、可能であればプロジェクトに関係する全ての普及員または政府職員を招集する予定です。</p> <p>予算についてはプロジェクト予算で対応するため積算不要です。</p>
8	同上	<p>モンゴルの SHEP 指導者向けの研修について各県から計何名の参加者を想定されていらっしゃるでしょうか。</p>	<p>・現時点では、技プロ対象 6 県及びウランバートル市から、合計 18 名の参加を想定しています。うち、帰国研修員が 3 名のみです。因みに、2024 年度アジア SHEP 研修に 7 名(オブザーバー参加者含む)参加予定です。この 7 名が上記の 18 名の中に含まれています。</p>
9	同上	<p>モンゴルの SHEP 指導者向け研修に関して、調査団が参加者に日当宿泊費を支払う場合、その単価と支給の条件をご教示頂けますでしょうか。またこの研修はウランバートル市で実施することが想定されると思いますが、各県及びウランバートル市内からの交通費単価と支給の基準も可能であればご教示頂けますでしょうか。</p>	<p>・SHEP 指導者向けの参加者をウランバートル市に集め、モンゴル事務所の出張旅費基準に基づき、旅費を MON-SHEP プロジェクト予算から支出します。</p>

10	全体	案件名の「市場志向型農場振興」は「市場志向型農業振興」に読み替えてよろしいでしょうか。	誤字につき大変恐れ入ります。読み替えていただければと存じます。
11	p.14 第4条 報告書等	経費の精算に必要なため、「モンゴル及びナミビアにおける現地調査報告書」のCD-Rの必要部数をご教示いただけますでしょうか。	CD-Rは1部です。
12	同上	(1)ワークプランと(2)モンゴル及びナミビアにおける現地調査報告書(PDF及びCD-R)は両方とも和文のみ作成で宜しいでしょうか。	いずれも和文のみ作成いただきます。

以上